



<定点把握感染症 週報>

疾病名	全国	山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
	第23週	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	第23週	第24週	増減	
インフルエンザ/COVID-19定点(定点医療機関数)		(43)			(9)			(10)			(4)			(8)			(12)			
インフルエンザ	861 0.17	1 0.02	1 0.02					1 0.10	Δ					1 0.13		▼				11937
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	19719 3.99	110 2.56	70 1.63	▽	26 2.89	16 1.78	▽	35 3.50	22 2.20	▽	11 2.75	9 2.25	▼	19 2.38	13 1.63	▽	19 1.58	10 0.83	▽	7834
小児科定点(定点医療機関数)		(28)			(6)			(7)			(3)			(5)			(7)			
RSウイルス感染症	4308 1.37	34 1.21	23 0.82	▽	21 3.50	10 1.67	▽	7 1.00	8 1.14	Δ		1 0.33	Δ	2 0.40	1 0.20	▼	4 0.57	3 0.43	▽	286
咽頭結膜熱	2798 0.89	57 2.04	50 1.79	▽	11 1.83	7 1.17	▽	7 1.00	13 1.86	▲		1 0.33	Δ	28 5.60	19 3.80	▽	11 1.57	10 1.43	▼	1337
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15322 4.87	230 8.21	217 7.75	▼	47 7.83	60 10.00	Δ	68 9.71	52 7.43	▼	4 1.33	3 1.00	▼	76 15.20	74 14.80	▼	35 5.00	28 4.00	▽	5892
感染性胃腸炎	15276 4.86	175 6.25	144 5.14	▽	61 10.17	54 9.00	▽	37 5.29	35 5.00	▼	10 3.33	6 2.00	▼	62 12.40	42 8.40	▼	5 0.71	7 1.00	Δ	3159
水痘	671 0.21	6 0.21	6 0.21		2 0.33		▽	2 0.29	1 0.14	▼	1 0.33		▽	5 1.00		Δ	1 0.14		▽	106
手足口病	12037 3.83	9 0.32	16 0.57	▲	1 0.17	5 0.83	▲	6 0.86	3 0.43	▽				2 0.40	5 1.00	Δ		3 0.43	Δ	161
伝染性紅斑	270 0.09																			15
突発性発しん	1062 0.34	12 0.43	11 0.39	▽	3 0.50	3 0.50		2 0.29	1 0.14	▽	1 0.33	1 0.33		5 1.00	5 1.00		1 0.14	1 0.14		233
ヘルパンギーナ	2024 0.64	3 0.11	9 0.32	Δ	1 0.17		▽							8 1.60		Δ	2 0.29	1 0.14	▽	42
流行性耳下腺炎	215 0.07		1 0.04	Δ		1 0.17	Δ													17
眼科定点(定点医療機関数)		(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	25 0.04																			0
流行性角結膜炎	569 0.82	3 0.38	1 0.13	▽	1 1.00		▽	2 0.67		▽	1 1.00		Δ							40
基幹定点(定点医療機関数)		(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	16 0.03																			3
クラミジア肺炎	2 0.00																			0
マイコプラズマ肺炎	120 0.25																			0
細菌性髄膜炎	12 0.02																			0
無菌性髄膜炎	19 0.04																			0

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数
 ※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、Δ:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

<全数把握感染症 週報>

疾病名	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
結核	2					
腸管出血性大腸菌感染症				3		内、第20週追加報告(1)型別:O157 VT2(2)、O血清群不明 VT2(1)
レジオネラ症				1		
侵襲性肺炎球菌感染症	1					ワクチン接種歴:1回
梅毒	1			1		
百日咳					3	ワクチン接種歴:4回(3)

<通信欄>

※トピックスで、劇症型溶血性レンサ球菌感染症について掲載しています。

※警報・注意報の基準値

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
新型コロナウイルス感染症	-	-	-
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

※定点把握感染症のグラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。

※ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。

<定点把握感染症 週報 年齢別報告数>

インフルエンザ/COVID-19定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	合計
インフルエンザ				1											1
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	70
	1	2	3	2	1	1						5	5	4	
	2	17	9	8	5	5									
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	2	2	10	5	3		1								23
咽頭結膜熱		5	22	4	6	2	5	2	1		1	1		1	50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		2	15	17	25	27	28	20	19	20	13	21	8	2	217
感染性胃腸炎			12	13	18	11	10	7	15	13	10	4	26	2	144
水痘							2		1		3				6
手足口病			7	3	2	3								1	16
伝染性紅斑															0
突発性発しん		2	8		1										11
ヘルパンギーナ			3	2	2	1			1						9
流行性耳下腺炎							1								1

<定点把握感染症 令和6年5月 月報>

2024年6月19日 発行

疾病名	山形県		山形市保健所		村山保健所		最上保健所		置賜保健所		庄内保健所		累積(県)	
	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月	4月	5月		1～5月
STD定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
性器クラミジア感染症	報告数	11	19	4	5	4	5		2	2	5	1	2	63
	定点当たり報告数	1.10	1.90	2.00	2.50	2.00	2.50		2.00	1.00	2.50	0.33	0.67	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数	7	8	2	1	1	2	2		2	2	3		41
	定点当たり報告数	0.70	0.80	1.00	0.50	0.50	1.00	2.00		1.00	0.67	1.00		
尖圭コンジローマ	報告数	1	3		1	1	1		1					11
	定点当たり報告数	0.10	0.30		0.50	0.50	0.50		1.00					
淋菌感染症	報告数	2	3		1		1	1	1		1			8
	定点当たり報告数	0.20	0.30		0.50		0.50	1.00	0.50		0.33			
基幹定点 (定点医療機関数)	(10)		(2)		(2)		(1)		(2)		(3)			
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数	4	8	1	3			3				5		27
	定点当たり報告数	0.40	0.80	0.50	1.50			3.00				1.67		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数	12	16	2	4		1	1			10	10		57
	定点当たり報告数	1.20	1.60	1.00	2.00		0.50	1.00			3.33	3.33		
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数													1
	定点当たり報告数													

<トピックス>

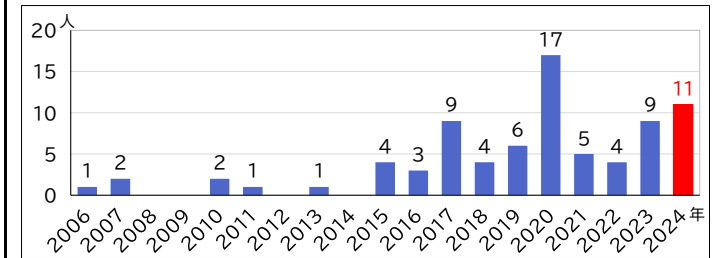
劇症型溶血性レンサ球菌感染症について

溶血性レンサ球菌(いわゆる溶連菌)に感染すると、まれに血液や筋肉などに侵入することで、症状が急激に進行して全身性の重症感染症を引き起こすことがあります。これを「劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)」と言います。

溶連菌による感染症として知られるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎は子どもに多いですが、劇症型溶血性レンサ球菌感染症は大人に多いのが特徴です。

STSSの重症化メカニズムやA群溶血性レンサ球菌咽頭炎との関連性はまだ解明されていません。

第24週現在、山形県では11例の報告があり、すでに昨年累積の9例を上回る報告数となっています。



感染経路

感染経路は不明な場合が多いですが、傷口や粘膜から感染する場合があります。

症状

初期には腕や足の痛みや腫れ、発熱などがみられ、その後急激に症状が進行して組織が壊死したり、呼吸状態の悪化や肝不全・腎不全などの多臓器不全を引き起こし、場合によっては発症後数十時間で死に至ることも少なくありません。

予防・注意点

劇症型溶血性レンサ球菌感染症に限らず、多くの感染症の予防には、基本的な感染症対策として手指衛生や咳エチケット、けがをした場合は傷口の清潔な処置といった基本的な感染症防止対策が有効です。

四肢の疼痛、腫脹、発熱など感染が疑わしい場合は速やかに医療機関を受診しましょう。

